

《Lesson 4》英語の文型（第1～3文型）

ここでは、英語の第1～第3文型の3つを学びます。これらはもうすでに練習で登場している形なのですぐに覚えられると思います（基本的に文型は、肯定文・否定文・疑問文で変わることはありませんので分かりやすい肯定文で説明しています）。

(1) 第1文型 (S + V)

- ・「主語＋動詞」の形。SV と呼ばれる。
- ・多くの場合、SV だけで文が終わるのではなく「動詞を説明する副詞」「（時間や場所を表す）前置詞が入るフレーズ」などの修飾語が足される。

<例> She smiled. (彼女は笑いました)

S V

My brother runs every morning. (私の兄は毎朝走ります)

S V

(2) 第2文型 (S + V + C)

- ・「主語＋動詞＋補語」の形。SVC と呼ばれる。
- ・C は主に「形容詞」か「名詞」だが、V が一般動詞 (become以外) の時はたいてい「C = 形容詞」になる。「C = 名詞」になるのはVが、be動詞 や become など限られた動詞の時のみ。
- ・S is C の関係が成り立つ。

<例> The story was very interesting. (お話はとても興味深かったです)

【SVC でよく用いられる動詞】

| 動詞 | 意味 | 例文 | S = Cとなっているか |
|--|--------|---|--------------------------|
| be動詞 | ～である | She is a teacher. (彼女は先生です) | |
| become | ～になる | He became a doctor. (彼は医者になりました) | He is a doctor. =○ |
| stay | ～のまま | I want to stay healthy. (私は健康的でいたいです) | I want to be healthy. =○ |
| look | ～に見える | She looks young. (彼女は若く見えます) | She is young. =○ |
| taste | ～の味がする | This tastes good. (これは良い味がします) | This is good =○ |
| <他の例> smell = ～の香りがする feel = ～の感じがする | | | |

(3) 第3文型 (S + V + O)

- ・「主語＋動詞＋目的語」の形。SVO と呼ばれる。
- ・多くの場合、V は一般動詞となり、その動詞が表す動作などの対象となるのがO。

<例> My brother likes France. (私の弟はフランスが好きです)
S V O <好きなのは何か? → フランス>
She is studying English with Tom. (彼女はトムと英語を勉強しています)
S V O <勉強しているのは何か? → 英語>
They bought a computer yesterday. (彼らはこのテレビを昨日買いました)
S V O <買ったのは何か? → このテレビ>

【ポイント! 「目的語 (O)」と「補語 (C)」の見分け方】

- (1) He likes dogs. (彼は犬が好きです)
(2) He became a doctor. (彼は医者になりました)

目的語 (O) と補語 (C) を見分けるには、まず下線部と主語 (S) との関係を考えます。下線部が補語 (C) なら、**S is C** の関係が成り立ちます。逆に下線部が目的語 (O) のであれば、成り立ちません。(1) の場合は「He is dogs. =×」なので「dogs =目的語 (O)」となります。(2) の場合は「He is a doctor. =○」となりますので「a doctor =補語 (C)」となります。